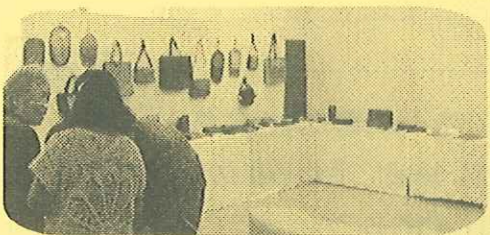


11月14日(日)、「南房総市文化協会 和田支部文化祭」が行われました。和田地域づくり協議会「WAO!」では、生きがい部会「寺子屋講座」のテーマに取り上げているように、「地域の方々の生きがいづくりの場」が活性化すると共に、活動も更に充実するよう、お手伝いをしていけたらと考えています。

今年度は、表題のように「準備と後片付けのお手伝い」となりましたが、更にお手伝いのあり方等を文化協会の方々と話し合っていきたいと思えます。

まずは、当日の会場の様子を写真で、お伝えします。



「すみれ会」の展示です



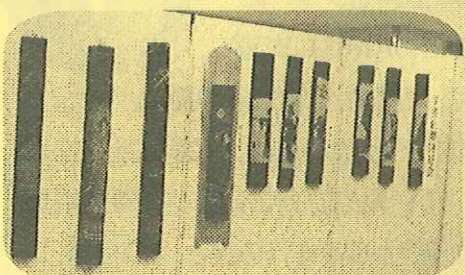
「南三原手芸サークル」の展示です



「めぐみ会」の展示です



「和田ちぎり絵の会」の展示です



「和田浮書絵彫同好会」の展示です



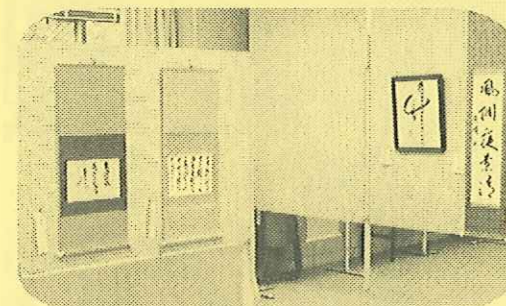
「水墨画サークル」の展示です



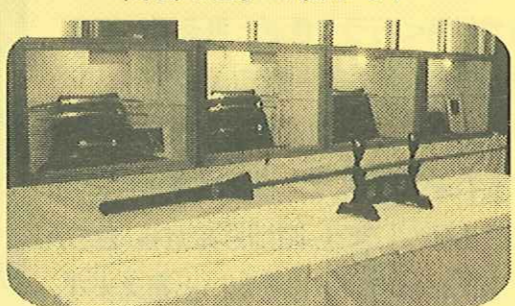
「掛け軸教室」の展示です



「陶芸の会」の展示です



「書道サークル」の展示です



「和田町刀剣愛好会」の展示です

第3回 和田町の文化祭が行われました

「WAO!」は、準備と後片付け とをお手伝いしました



お詫びと訂正

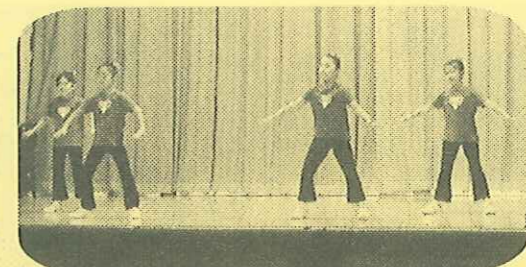
「わだすき 16号」で、「地域のコミュニケーションづくり」が行われています」という表題の記事で、「北三原地区 さわやかスポーツ大会」を「上三原・北三原 さわやかスポーツ大会」と誤って表記しました。

訂正して、お詫び致します。

発行者	南房総市・和田地域づくり協議会「WAO!」
連絡先	南房総市役所和田支所内 地域づくり支援員 田島和幸 白井砂千代
電話	支援員 0470-47-5955 支所 0470-47-3111
FAX	支所 0470-47-4181



「和田町内の小・中生徒」の作品展示です



「和田町キッズリズム」の演技です



「扇祥会」の演技です



「和田町民舞の会」の演技です



3階ホールでの「抽選会」の様子です



「勇魚朝市」が出店して下さいました

今年の文化祭について、サークルの皆さんの声を聞いてみました

今年、文化祭に係わる「WAO!」のお手伝いは「準備と後片付け」だけでしたが、多くのサークルから企画や運営にも関わって欲しいとの要望がありました。

また、各サークルでは、文化祭に来て下さった皆さんの人数や反応は「まあまあ良かった」と捉えています。もつと内容を工夫したりして地域の皆様に「文化祭」に足を運んで頂いたり、サークル活動に関心を持って頂きたいと願っていることが伺えます。

ちなみに今年、「勇魚朝市」の皆さんがコミセン前に出店して下さいました。それについて、「サークルのメンバーの昼食の心配をしなくて良かった」とか「参観した方が昼食を買えたため、コミセンの滞在時間が長くなった」など、「勇魚朝市」の出店に対して、大変好評だったとのこと意見が寄せられました。

その他にも「野菜の直売」や「フリーマーケット」、イベントとの共催、また「WAO!」の活動の展示コーナー設置や「WAO!」による楽しいイベントを企画して」との声もありました。

「WAO!」では、来年度からの文化祭開催についても、いろいろな団体や機関と協力しながら、より良い開催に向けお手伝いしていきたいと考えます。



市政懇談会は、和田コミュニティセンターで、午後7時から約1時間30分に亘って行われました。

会場には、約80名ほどの方々が参集され、説明に熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

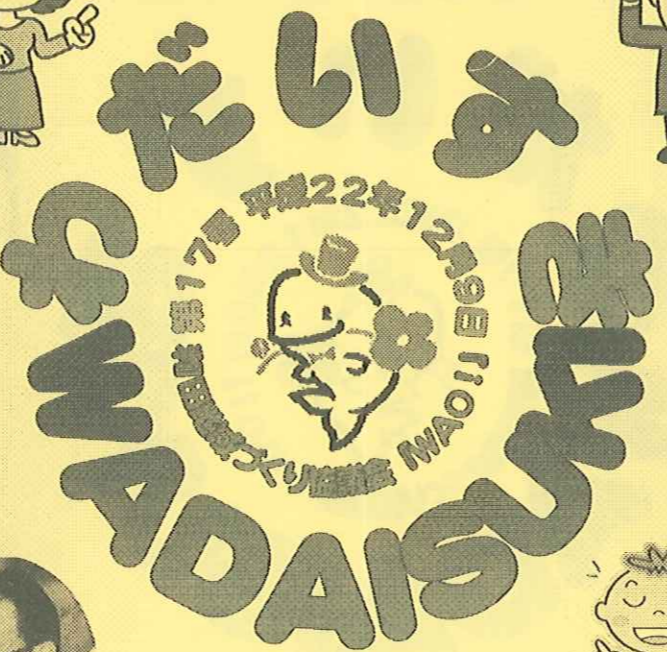
「公共施設再編」と「跡地の活用」等は、和田地域の活性化に大きく関わってくると考えます。説明内容

については広報等で既に報じられていることですので、会場で出た質問と回答とをまとめて皆様にお知らせしたいと思います。

地域公共施設再編等の説明会がありました

和田地域市政懇談会

11月10日(水)に



質問 光ファイバー網を活用し、市の公共施設をつなぐことで、本庁などに行かなくても会議ができるようにすることが経費を削減できると共に、効率的なのではないか。

回答 「テレビ電話のようなシステム導入も効果的で必要では」という考えもありますが、来年度からすぐに実施できるわけではありません。

質問 学校建設が、この2-3年多いように思うが、建設は計画的に行われているものなのか。また、耐震工事をした後、統合に伴ってすぐにまた建て替えということはないのか。

回答 学校建設は、学校施設の老朽化と学校再編によるもので、計画的に進めています。また、校舎の耐震工事については、緊急性のあるものは除き、再編が計画されている校舎については、工事をしない考えです。

質問 小学校の統合計画については、どうなっているのか。

平成23年4月からは、富浦小と八束小が統合し、新しい富浦小となります。また、白浜小と長尾小が統合し、新しい白

回答 浜小となります。また24年4月に向け、岩井小と平群小の統合について協議を進めています。和田、丸山、千倉地区については、23年度から検討会を立ち上げ、話し合いをしていく計画です。北三原小学校と南三原小学校が統合して、「また統合の話か」と思われるかも知れませんが、少子化の進行は驚くべき状況ですので、学校のあり方について、ご意見を伺いながら進めていきたいと考えます。



市の年度予算からは、これから10年間の間に30億から40億のお金が無くなっていきます。あまり学校再編を先に延ばしていくと、「校舎を建てなければならないが、お金が無くなっている」という場合が出てくることも考えられます。



団塊の世代の1学年は、和田地域でも250人くらいいたのではないかと思います。しかし現在、和田地域の1才児は、23人です。また、南房総市の1才児は、約200人という状況です。これらは、その当時から比べると、約1/10程度の数字です。

ちなみに、和田地域の1才児は23人、2才児が27人、3才児が24人、4才児が29人、5才児が30人、6才児が29人となっています。

和田小学校で言えば、1才児が9人、2才児が11人、3才児が9人、4才児が9人、5才児が8人、6才児が12人、その子ども達が入学した和田小の全校人数は58人です。

質問 「こうなります」的な切り口上の投げかけてなく、「こうなりますから、協力をお願いします」「こういう方法もあるんじゃないですか」などの、柔らがいタッチでの相談的な手法で行政運営をお願いしたい。

質問 千倉に基幹支所ができるとのことだが、その体制はいつまで続くのか。

中期的には、三芳地区を福祉の中心にし、人員削減等により本庁に余裕ができれば、各地区に散らばっている機能を集中していきたいと考えています。

質問 和田支所跡に建設が予定されている地域振興センターの進捗状況などを、住民にきめ細かに説明すると共に、地域への周知についても納得のできる手順で行ってほしい。

現在、地域振興センターなどの実施設計を進めようとしている状況です。平成20年度より、「地域力創成協議会」で和田町の振興について協議してきました。そして昨年の6月に、この事業に関するパンフレットが各家庭に配られています。現在、この地域振興施設の担い手として、地元の「和田地域づくり協議会『WAO!』」と協議を進めているところです。

行政の行う業務は、住民の皆さんに分かり易く行うべきだと考えていますが、まだ説明する段階にいないのが実状です。十分な説明ができないうちにそれを行うと、むしろ混乱を招くと言うこととなります。時期が来たら、きちんと説明しなければならぬと考えます。

回答 南房総市では、過疎や高齢化等、住みづらい状況が広がっていることは確かです。しかし、皆さんが安心して暮らせるまちづくりのために、市から皆様に押しつける行政運営ではなく、行政側の事情等を十分に説明し、ご理解して頂く中で進んでいきたいと考えています。

回答 千倉支所では、証明書の発行業務、消防防災業務、建設に係わる事業業務、まちづくり業務などが行われることが考えられます。存続のはっきりとした期限は、詳細な検討を行っていないため、まだお答えできません。ただ、いつかは本庁1ヶ所で行うことにならうかと考えます。

回答 地域振興センターに関わるハード面での事業は、3つあります。1つ目は、公民館跡地に交通結節点となるロータリーを作ること。2つ目は、役場跡地に地域振興センターという形で、1次産業の振興や地域資源を活かした販売施設を作ること。3つ目は、コミュニティセンターに、地域の人達が交流するボランティアセンターを作ることです。

